

放射線創薬の実際

「見える」

がん治療薬ができるまで

2026年 1月17日 土
14:00-15:00

参加費
無料

会場 Jヴィレッジホテル Jヴィレッジホール

セミナー内容

- ▶ 私たちの2人に1人は何らかのがんになるといわれるほど、がんは身近な病気となっています。がんや体の状態に合わせて、手術や放射線、抗がん剤やこれらの組み合わせが治療として用いられます。
- ▶ 抗がん剤は多くの患者さんに役立っていますが、薬ごとに様々なつらい副作用があり、治療の大きな制約となっています。
- ▶ 私たちは、微量の放射線を出す物質を使って、副作用の少ない治療薬の開発に挑戦しています。銅のアイソトープの一つであるCu-64のユニークな特徴を活かした、新しい「見える」がん治療薬の可能性を追求する私たちの取り組みをご紹介します。

申し込み方法

右記のWebフォームから
お申し込みをお願いいたします。



講師



松本 博樹 氏

東京大学アイソトープ総合センター 特任教授

1967年、大阪市生まれ。博士（理学）。専門は放射性医薬品科学。京都大学理学部卒業、同大学院理学研究科修士課程修了。1992年に日本メジフィジックス株式会社に入社、放射性医薬品の研究開発・産学連携・米国駐在・事業開発などに従事、研究所長・グローバル開発担当部長などを歴任。2020年、東邦大学大学院理学研究科にて博士の学位を取得。2021年に国立研究開発法人・量子科学技術研究開発機構に移り、2022年に同機構認定ベンチャーとしてリンクメッド株式会社を起業、取締役副社長COOとして放射性医薬品の研究開発・事業開発・会社運営全般を主幹。2024年1月より現職。アイソトープ総合センターの社会連携部門において放射性医薬品の研究開発、研究者の教育などに従事。昭和大学薬学部客員教授、国立がん研究センター中央病院客員研究員を兼ねる。

主催

東京大学アイソトープ総合センター・福島工業高等専門学校

お問合せ先：福島工業高等専門学校 芥川研究室 TEL：0246-46-0847 [平日9:00-17:00]

大学等の「復興知」を活用した人材育成基盤構築事業「福島復興知学の深化と展開～ミルフィーユ型人材の育成基盤構築」